



株式会社クレオ

第**48**期

Business Report

2020年4月1日～2021年3月31日

みなさまと共創していく、これからの未来

We want to create the future with you.

株式会社クレオ

証券コード：9698

2期連続で過去最高益を更新、 中期経営計画の着実な遂行で持続的成長を追求

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

中期経営計画の初年度にあたる2021年3月期は、成長事業であるソリューションサービス事業を中心とした収益構造改革が進捗し、連続の増収増益を達成することができました。将来性の高いビジネスに社内リソースを集約するとともに、企業文化として挑戦できる環境づくりに取り組み、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
柿崎 淳一



Q 2021年3月期の事業環境と業績について お聞かせください。

A 新型コロナウイルス感染症拡大による先行きの不透明感が継続していますが、ICTサービス市場は引き続き需要の旺盛な状態を維持しています。当社グループにおいても、一部コロナ禍による出遅れがあったものの、全体として受注状況は好調に推移しました。政府が推進してきた働き方改革によるデジタル化の波に、テレワーク、リモートワークの普及が追い風となって、当社が強みを有する人事給与や就業管理システムへの需要が拡大し、当社グループの2021年3月期の売上高は147億45百万円(前期比0.8%増)となりました。また利益面では、利益率の高いソリューションサービス

事業の伸びに加え、受託開発事業における原価低減等によって、営業利益は11億31百万円(同8.3%増)、経常利益は11億95百万円(同9.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億76百万円(同6.3%増)となりました。5期連続の増収、4期連続の増益となり、2期連続で最高益を達成することができました。

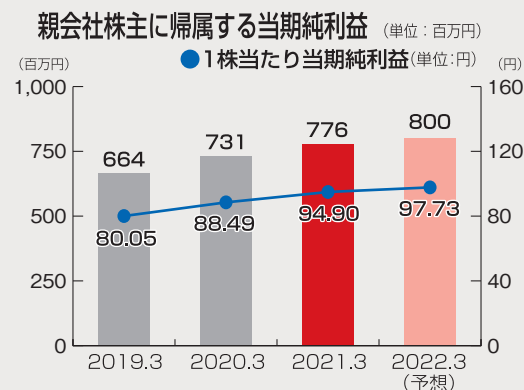
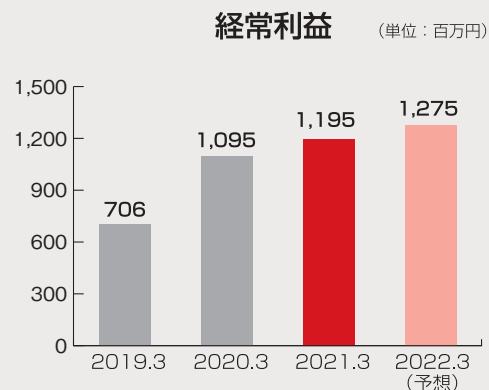
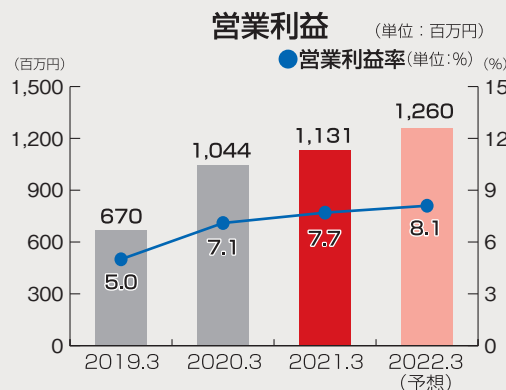
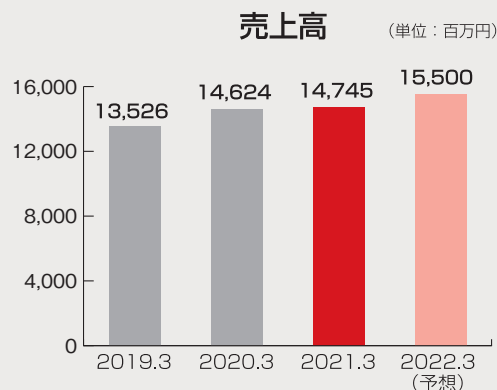
Q 新中期経営計画1年目の成果と現在の進捗 についてお聞かせください。

A 当社グループは、2021年3月期を初年度とする中期経営計画を策定し、最終年度の2023年3月期における連結営業利益率10%を目標に、売上高180億円、営業利

益18億円を目指しています。グループの新たな成長へ向けた仕組みづくりのための基本方針として、①事業構造、事業ポートフォリオの転換、②持続的成長に向けた人財育成・活用、③変化、リスクに対応できる柔軟な組織、業務プロセスへの変革を掲げています。

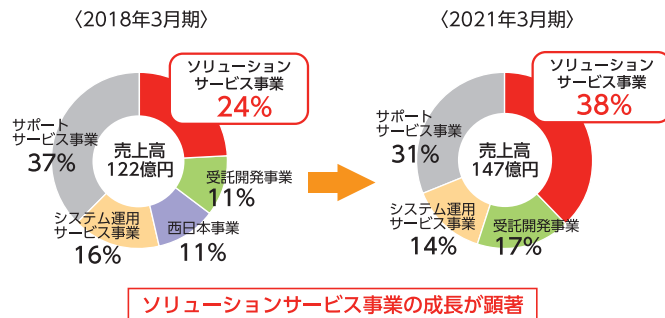
事業構造、事業ポートフォリオの転換については、成長を牽引するソリューションサービス事業へ経営資源の集中を図ったことから、前中期経営計画初年度の2018年3月期に24%であったソリューションサービス事業の売上比率を、2021年3月期は38%にまで引き上げることができました。

また、2021年4月より、組織をカンパニー制から事業本部制に再編し、変化、リスクに対応できる柔軟な組織、業務プロ



セスへの変革を進めています。同時に、サポートサービス事業を展開する子会社の株式会社クリエイトラバについて、その子会社の株式会社アイティアイを吸収合併するとともに、商号を株式会社ブライエに変更し、重複業務の解消など経営資源の効果的な活用を進めております。「繋がる」、「紡ぐ」、「創る」をテーマに事業ポートフォリオの変革を含め、各セグメントの収益力強化を目指してまいります。

■ 事業ポートフォリオの変遷(セグメント別売上比率)



Q 2022年3月期において、特に注力している施策と業績予想について教えてください。

A 2022年3月期は、4つの改革として①事業構造改革、②コスト構造改革、③ワークスタイル改革、④次世

代育成を掲げ、中期経営計画達成に向けて取り組んでまいります。

事業構造改革では、引き続き成長事業と位置づけたソリューションサービス事業を軸に「つながる」事業、収益性の高い事業にリソースを集中してまいります。特にERP市場において、中堅企業のクラウド化が進むことを想定し、当社サービス群に加えて、他社クラウドサービスとの連携も強化し、経営資源である人、モノ、お金、情報をつなぐことでお客様の経営基盤となるソリューションを拡充してまいります。2021年4月には、当社のクラウド製品として「ジームクラウド」を発売し、他のクラウドベンダーと経営資源をつなげることで、DX推進を加速させてまいります。

ワークスタイルの改革については、テレワーク対応強化、感染症対策継続によって社員の安全確保に注力するとともに、対話の場としてオフィス改革を実施することで多様な働き方に対応し、生産性の向上に努めてまいります。さらに、チャレンジ風土を醸成し、持続的成長に向けた次世代の育成に力を注いでまいります。

これらの施策によって2022年3月期の業績見通しは、売上高155億円、営業利益12億60百万円(営業利益率8.1%)、経常利益12億75百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億円を予想しています。

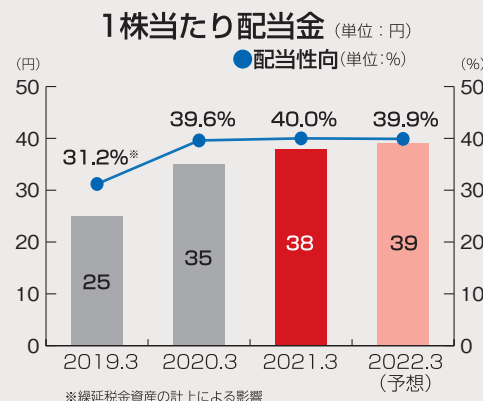
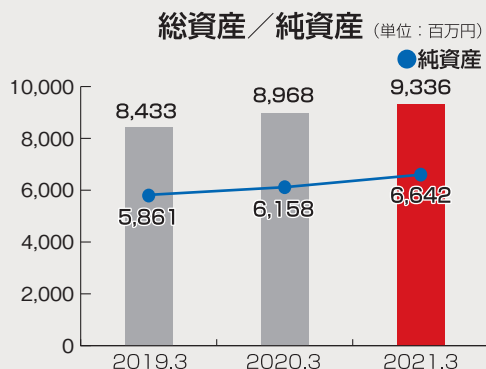
Q 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

A ニューノーマル時代に向けて社会、経済、企業のデジタル化が加速する中で、企業の変革意識も高まっています。ICT企業として当社は、お客様のDX化を推進し社会に貢献するとともに、さらなる成長を目指してまいります。

今期より株主様と同じ目線、マインドを持てるように役員と幹部社員に株式報酬を導入しております。これからもステークホルダーの皆様と価値を共創し、「魅力あるクレオ」として、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※DX=デジタルトランスフォーメーション

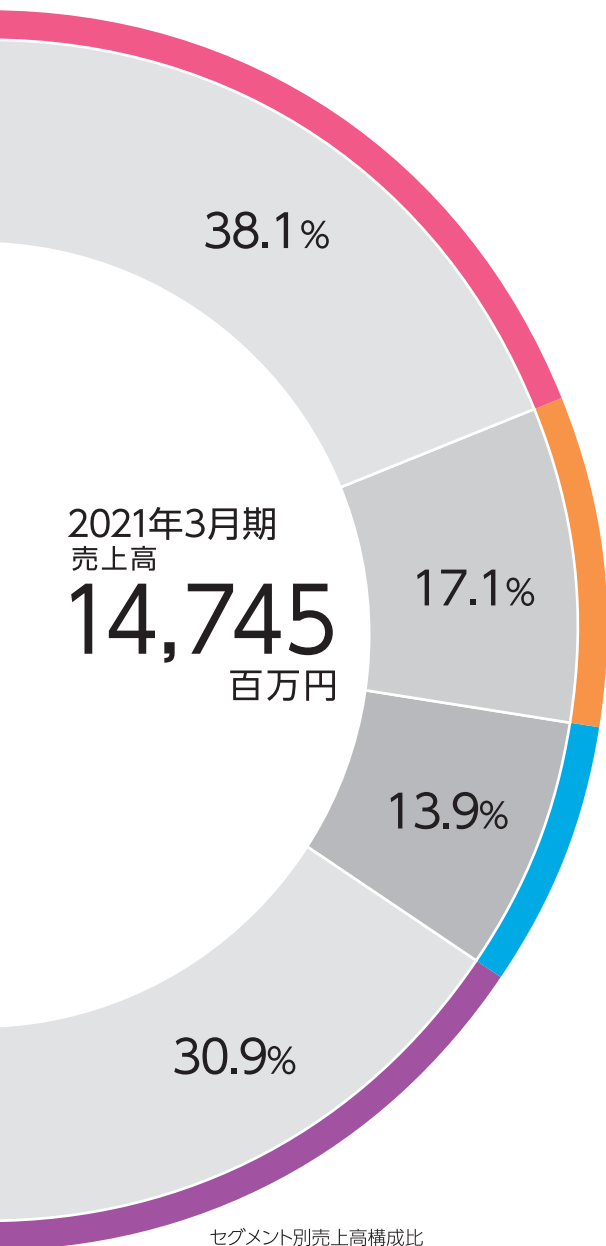


利益配分に関する基本方針と当期・次期の配当について

当社は株主の皆様への剰余金処分を経営の重要な政策の一つとして考えており、配当に関しては長期的な視点に立ち、連結経営成績に応じた安定的な利益の配分を基本方針としております。また、株主の皆様への長期的な利益還元をさらに充実させるため、連結配当性向40%を目標としております。

これらの方針に基づき、2021年3月期の配当金につきましては、当初計画の1株当たり36円から2円増配し、1株当たり38円(前期比3円増配)といたしました。配当性向については40.0%となりました。

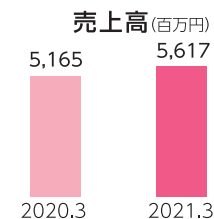
また、2022年3月期の配当金につきましては、1株当たり39円、配当性向39.9%を予想しております。



ソリューションサービス事業

売上高 **5,617** 百万円 営業利益 **1,128** 百万円
前期比 8.8%増 前期比 4.9%増

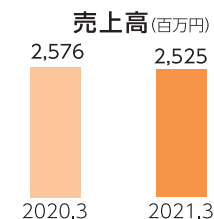
第4四半期に大型案件の検収が集中したことなどにより、売上高は前期比で4億52百万円増加、営業利益は前期比で52百万円増加しました。



受託開発事業

売上高 **2,525** 百万円 営業利益 **426** 百万円
前期比 2.0%減 前期比 33.2%増

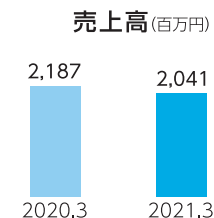
西日本地域や製造業向け案件などの受注減の影響はあるものの、大手ITベンダー案件の受注回復などもあり、売上高は前期比で50百万円減少、営業利益は前期比で1億6百万円増加しました。



システム運用・サービス事業

売上高 **2,041** 百万円 営業利益 **216** 百万円
前期比 6.7%減 前期比 8.7%増

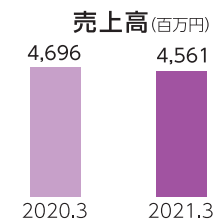
第1四半期のコロナ禍の影響などにより、売上高は前期比で1億45百万円減少しました。なお、プロジェクト利益率の改善による効果などにより、営業利益は前期比で17百万円増加しました。



サポートサービス事業

売上高 **4,561** 百万円 営業利益 **320** 百万円
前期比 2.9%減 前期比 3.4%増

コールセンターサービスの受注減などにより、売上高は前期比で1億34百万円減少、営業利益は前期比で10百万円増加しました。

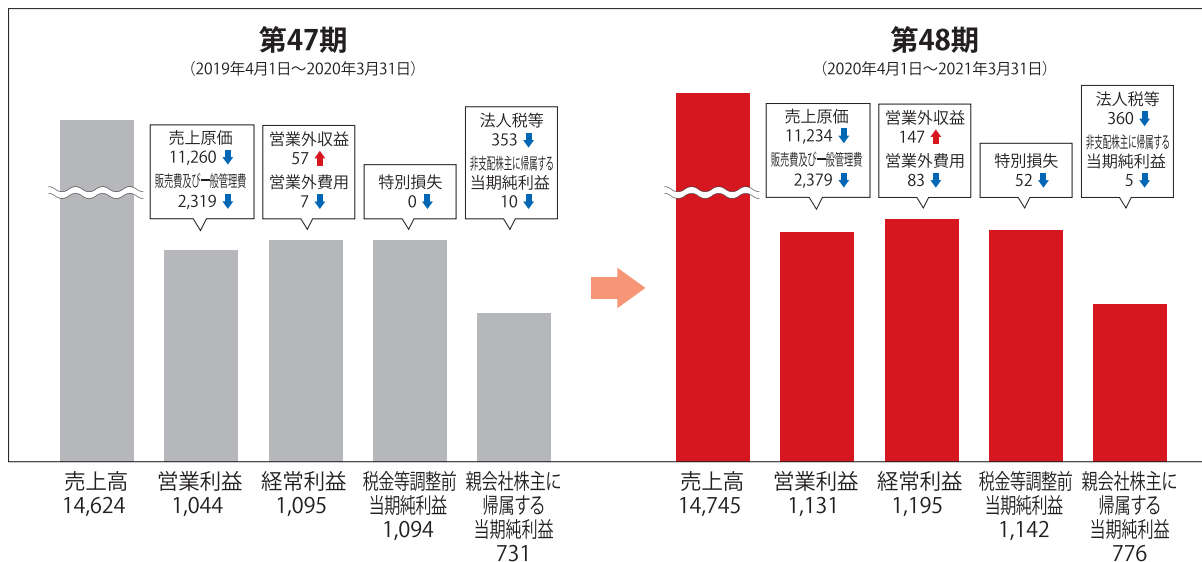


※2021年3月期より、事業セグメントを一部見直し、それまでの西日本事業をソリューションサービス事業と受託開発事業に振り分けました。
2020年3月期のセグメント情報は、新たな事業セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

財務データ

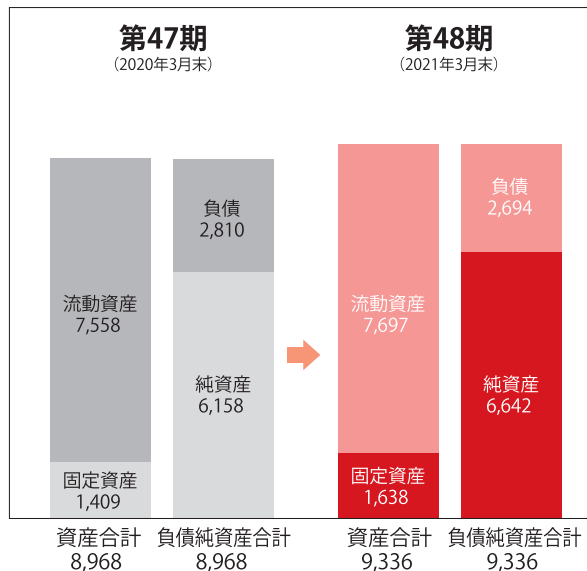
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



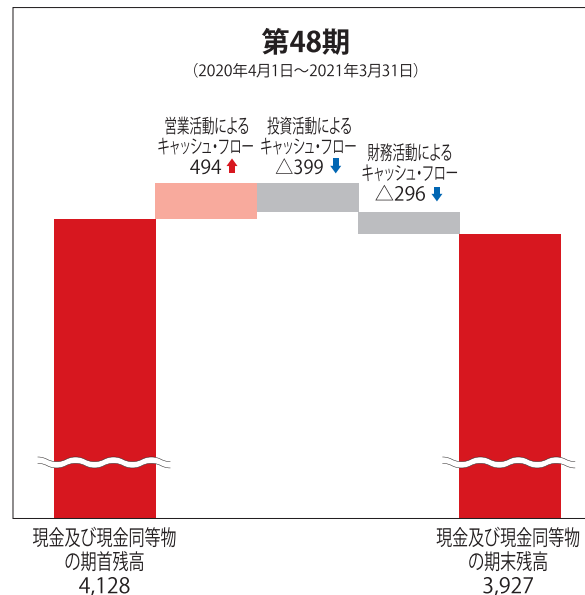
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



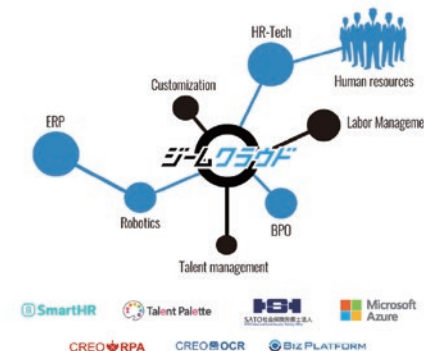
	第47期	第48期
経営成績 (単位:百万円)	売上高	14,624
	売上総利益	3,364
	営業利益	1,044
	経常利益	1,095
	税金等調整前当期純利益	1,094
	親会社株主に帰属する当期純利益	731
財政状態 (単位:百万円)	資産合計	8,968
	流動資産	7,558
	固定資産	1,409
	負債合計	2,810
	流動負債	2,696
	固定負債	113
	純資産合計	6,158
キャッシュ・フロー (単位:百万円)	営業活動によるキャッシュ・フロー	889
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△354
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△418
	現金及び現金同等物の期末残高	4,128
	現金及び現金同等物の期末残高	3,927
1株当たり情報 (単位:円)	1株当たり当期純利益	88.49
	1株当たり純資産	750.33
	1株当たり配当金	35.00
財務指標	自己資本当期純利益率 (ROE)	12.2%
	総資産経常利益率 (ROA)	12.6%
	自己資本比率	68.5%

TOPICS

1

つながる。DX推進フレームワーク「ジームクラウド」発売

2021年4月より、大手・中堅企業に向けた、人事・経理・財務部門のDX推進フレームワークである「ジームクラウド」を販売開始しました。老朽化や時代に合わなくなったシステム環境の管理部門に、クラウドシフトなど新しいデジタルテクノロジーの活用機会をご提供します。人事業務基盤となる「ジームクラウドHR」はSaaS型の給与計算クラウドサービスで、グループ人事や複数賃金制度に対応した給与計算機能を軸に、お客様が希望する各種HR-Techや人事BPOサービスと自由に連携させることで、人事部門のDX推進を支援します。



TOPICS

2

経済産業省「健康経営優良法人 2021」に認定

2021年3月、当社は、経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」に認定されました。健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人の中で特に優良な健康経営を実践している法人を健康経営のリーディングカンパニーとして評価・認定する制度です。今後も継続的な健康の保持・増進に取り組み、社員やその家族、お客様の幸せを最大化し、豊かな未来社会の実現に貢献してまいります。

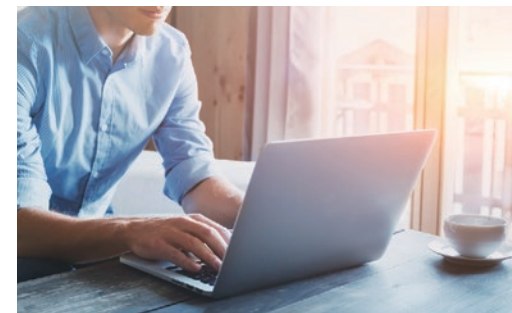


TOPICS

3

テレワークの状況

2020年から新型コロナウイルス感染症の拡大が顕在化しておりますが、当社では2020年4月から社長を本部長とする「クレオ危機管理対策本部」を設置し、社員の感染症対策を強化すると共に、安心して働ける環境構築の充実を進めております。出社と在宅勤務についてはハイブリッドな勤務制度を採用し、現在の出社率はおよそ3割程度となっております。社員および関係者の皆様の安全確保を最優先に行動しつつ、安定した事業運営に努めております。



会社概要／株式の状況

◆会社概要

商 号	株式会社クレオ
所 在 地	東京都品川区東品川四丁目10番27号
役 員	(2021年6月22日現在)
代表取締役社長	柿崎 淳一
専務取締役	二宮 桐人
取締役	宮島 利光
社外取締役	井原 邦弘
社外取締役	春木 謙一
社外取締役	鈴木 良之
常勤監査役	雨田 高志
社外監査役	宮澤 求 (公認会計士)
社外監査役	渡辺 伸行 (弁護士)
設 立	1974年3月22日
資 本 金	3,149,650千円
連結売上高	14,745百万円 ※2021年3月期実績
従 業 員 数	連結 1,196人 単体 499人

◆株式の状況 (2021年3月31日現在)

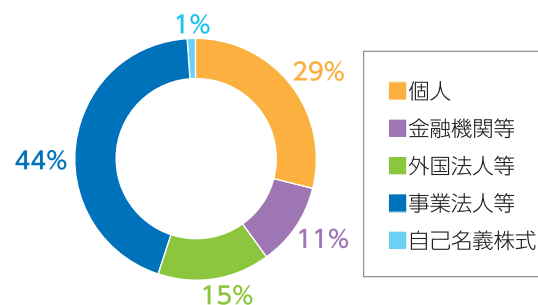
発行済株式総数 8,585,688株
株主数 1,949名

大株主 (2021年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アマノ株式会社	2,645	30.8
Zホールディングス株式会社	1,100	12.8
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	400	4.7
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	364	4.2
MSIP CLIENT SECURITIES	271	3.2
GOLDMAN SACHS BANK EUROPE SE	240	2.8
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	172	2.0
クレオ従業員持株会	154	1.8
和田 正次	147	1.7
椎名 敬一	133	1.5

(注) 1. 当社は自己株式を64千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 当社は株式給付信託を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が400千株を所有しておりますが、自己株式には含めておりません。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算(小数点第二位を四捨五入)しております。

所有者別株主分布状況



◆WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報の掲載はもちろんのこと、メールによる「IRメール配信サービス」も行っております。是非一度ご覧ください。



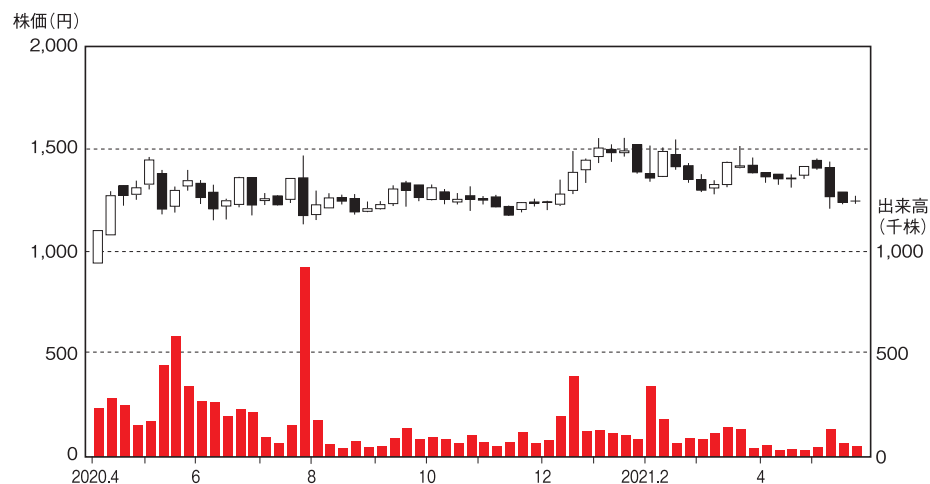
<https://www.creo.co.jp/ir/>



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 ジャスダック市場
公告の方法	電子公告の方法により行う。 公告掲載URL https://www.creo.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

株価と出来高の推移



理念・行動規範

企業理念

私たちは、「人間の想像力」と「世界中のテクノロジー」を結合することで、「感動！」を生む変革を起こし、豊かな未来社会の実現を目指します。

行動指針

～幸せな企業人であり続けるための7つの行動～

1. 感謝の気持ちを忘れない
2. 信頼すること、されることを重んじる
3. いつも誠実に行動する
4. 心も技術も磨き続ける
5. より健康であり続ける
6. 恐れずに何ごとにも挑戦する
7. 仕事にも社会にも人生にも成果を出す



このロゴには、3つの「想い」が込められています。

1つは「感動」を生むこと

クレオは「感動」を提供する企業です。常に周囲の期待を超え、驚きを提供していく姿をロゴに託しました。ロゴはエクスクラメーションマーク(感嘆符)をかたどりました。球形はクレオ自身を表します。共に語り、共に考え、共に成長するという共創の精神を象徴しています。

1つは「創造」し続けること

クレオの歴史は創造の歴史です。ロゴは、知識や技術、関係の新たな結びつき(新・結合=イノベーション)を発見、創造し続ける決意を象徴しています。クレオ自身を示すこの球体から、次代を担う人財、製品、サービスが次々と生まれ、大きく育っていく姿を表しています。100年企業を目指し、時代時代にあわせ、変化し続ける姿です。

1つは「永遠(とわ)」に寄り添うこと

クレオはいつもステークホルダーの皆様に関わり添う企業でありたいという願いを込めました。ロゴは、クレオ自身である球体が、お客様や社会、株主の皆様に関わり添っているというイメージを表現しています。社会に貢献できる価値を提供し続ける企業であるという私たちの願いを象徴しました。